

公正証書遺言の作成例

平成27年第〇〇号	1
遺言公正証書	2
本公証人は、遺言者甲野太郎の囑託により、後記証人2名の立会いの下に、遺言者の口述を筆記してこの証書を作成する。	3 4
第1条 遺言者は、遺言者の有する次の財産を、遺言者の妻甲野花子（昭和〇年〇月〇日生）に相続させる。	5 6
(1) 不動産	7
ア 土地	8
所在 〇〇市〇〇町〇丁目	9
地番 〇番〇	10
地目 宅地	11
地積 〇〇. 〇〇㎡	12
イ 建物	13
所在 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇	14
家屋番号 〇〇番	15
構造 木造瓦葺2階建	16
床面積 1階 〇〇. 〇〇㎡	17
2階 〇〇. 〇〇㎡	18
(2) 預貯金	19
次の金融機関に存在する預貯金を含め、第2条に記載する預金を除く預貯金全部	20 21
〇〇銀行（〇〇支店）	22
ゆうちょ銀行	23
第2条 遺言者は、遺言者の有する次の預金の払戻しを受け、遺言者の一切の債務	24

公証人役場

第 8 行中，6 字削除，6 字加入

印(公証人) 印(遺言者) 印(証人) 印(証人)

の弁済及びこの遺言の執行に関する費用の支払に充てた残金につき，遺言者の長	1
男甲野一郎（昭和○年○月○日生）及び同次男甲野次郎（昭和○年○月○日生）	2
にそれぞれ 3 分の 1 を相続させる。	3
○○銀行（○○支店）の遺言者名義の定期預金	4
〔口座番号○○○○○○○○〕	5
第 3 条 遺言者は，前各条に記載した財産以外の，遺言者の有する動産その他一切	6
の財産を，妻甲野花子に相続させる。 次男甲野次郎	7
第 4 条 遺言者は，祖先の祭祀の主宰者として， 長男甲野一郎 を指定する。	8
第 5 条 遺言者は，この遺言の遺言執行者として，次の者を指定する。	9
住 所 ○○市○○町○番地○	10
職 業 弁護士	11
氏 名 乙山一夫	12
生年月日 昭和○年○月○日	13
2 遺言執行者は，遺言者の有する株式，預貯金等の金融資産について名義変更，	14
解約及び払戻し等をする権限その他この遺言を執行するに必要な一切の権限を	15
有する。	16
以 上	17
本旨外要件	18
住 所 ○○市○○町○番地○	19
職 業 会社役員	20
遺 言 者 甲 野 太 郎	21
昭和○年○月○日生	22
上記は，印鑑登録証明書の提出により，人違いでないことを証明させた。	23
住 所 ○○市○○町○番地○	24

公証人役場

職 業	弁護士	1
証 人	乙 山 一 夫	2
	昭和○年○月○日生	3
住 所	〇〇市〇〇町〇番地〇	4
職 業	法律事務職員	5
証 人	丙 川 春 子	6
	昭和○年○月○日生	7
以上を遺言者及び証人に読み聞かせ、かつ閲覧させたところ、各自その筆記の正		8
確なことを承認し、次に署名押印する。		9
遺 言 者	甲 野 太 郎 ⑩	10
証 人	乙 山 一 夫 ⑩	11
証 人	丙 川 春 子 ⑩	12
この証書は、平成27年9月8日、本公証人役場において、民法第969条第1		13
号ないし第4号に定める方式に従って作成し、同条第5号に基づき、本公証人次に		14
署名押印する。		15
〔役場所在地〕		16
〇〇法務局所属		17
公 証 人	公 証 太 郎 印	18
		19
		20
		21
		22
		23
		24

※ 行書体の部分は自書。

公証人役場